2026 年 8 月 9 日作成、第 1 版

婦人科腫瘍の患者由来研究モデルを用いた、腫瘍性質の遺伝学的解析と新規治療法開発への応用

信州大学医学部の産科婦人科と千葉県がんセンターは、婦人科悪性腫瘍の腫瘍だけに発現している分子・タンパクの解析や新規治療法の開発研究への応用を目指した研究を実施しています。千葉県がんセンターは共同研究施設として信州大学で採取された試料を用いた実験を担当していましたが、今回千葉県がんセンターで採取した試料を研究に使用するため、本文書により周知させていただきます。

1, 研究の対象:

千葉県がんセンターにおいて 2021 年から 2025 年に婦人科がんの診断・治療を受けた方で「婦人科がんの臨床検体を用いた 3 次元培養法および薬剤感受性評価系の確立」(研究番号:H28-J158)に参加され、採取・作製した試料を将来の研究に利用することおよび当院以外の機関への提供・研究利用に同意された方が対象となります(これらをまとめて、二次利用といいます)。

2, 研究目的・方法

信州大学医学部附属病院の患者さんより採取した試料やその試料から培養した細胞に加えて、上記の研究対象に該当する方より採取・作製した試料を当院研究所および信州大学産科婦人科学教室での研究に使用し、婦人科悪性腫瘍の発がん機構や臨床における治療効果予測因子を探索します。また、新規の治療法の開発を目標に試料をマウスに移植することで動物実験モデルを作製し、既存薬剤および他のがん種で使用されている治療薬などに対する感受性を評価します。

3. 研究期間:許可後～2027 年 12 月 31 日(予定)

4, 研究に用いる試料・情報の種類

すでに採取・作製した試料を活用するため、新たに試料を採取する必要はありません。研究実施にかかわる試料や情報を取扱う際は、他の情報と照合しない限り、個人を識別することができないよう加工することで、患者さんの個人情報保護に十分配慮します。研究の結果を公表する際は、個人を特定できる情報を含みません。また、研究の目的以外には、研究で得られた被験者の試料・情報を使用しません。

5, 外部への試料・情報の提供・公表

当院および信州大学以外に試料や情報を提供することはありません。研究成果は学会や

学術雑誌等での発表を予定していますが、その場合にも個人を特定できるような情報は公開しません。

6, 利益相反について

臨床研究における利益相反とは、研究者が企業等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。本研究は、信州大学産科婦人科学教室および当院研究所の研究費で実施されますが、研究者の利益相反の管理は、各施設の規定に基づいて利益相反委員会により適切に実施されています。詳細をお知りになりたい場合は、連絡先までお問い合わせください。

7, 研究組織

研究代表施設: 信州大学 産科婦人科学教室
研究責任者: 診療助教 横川 裕亮

参加施設: 千葉県がんセンター研究所 精密腫瘍モデル研究室
研究分担者: 研究員 丸 喜明

8, 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:
信州大学における担当者
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
信州大学 産科婦人科学教室 横川 裕亮
電話番号:0263-37-2719 （内線:5314）

千葉県がんセンターにおける担当者
〒260-8717 千葉県千葉市中央区仁戸名町 666-2
千葉県がんセンター 精密腫瘍モデル研究室 丸 喜明
電話番号:043-264-5431 （内線:6519）